



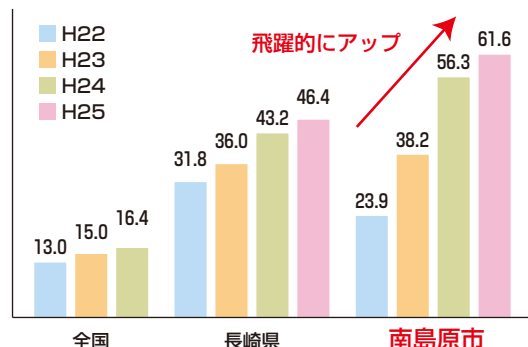
特定保健指導（※）実施率は、平成24年度までの国の目標が45％に対し、16・4％と伸び悩んでいます。本市も同様の状況でしたが、実施率向上に向けた取り組みを強化した結果、平成22年度の23・9％から、平成24年度の56・3％と飛躍的な向上を遂げることが

特定保健指導とは※

特定健診の結果、腹囲(内臓脂肪の蓄積)と血圧・血糖・脂質のいずれか1つ以上が基準値より高く、かつ治療をしていない人に対して、6カ月間、医師・保健師・管理栄養士が生活習慣改善に向けた保健指導を実施すること。



特定保健指導実施率の推移(%)



厚生労働省は、実施率向上を図るため、成果を上げている医療保険者などの効

果的な取り組みとその要因を事例集にまとめ、取り組みの推進を目指しています。本市は、引き続き健診結果説明会や健康相談、家庭訪問、電話などで、対象となる人に特定保健指導を実施し、さらなる実施率向上を目指し、生活習慣病の発症および重症化予防につながるように支援を継続していきたいと考えています。

全国の6団体選ばれました！ 特定保健指導実施率が 飛躍的にアップ！

できました。

この度、本市の取り組みが、厚生労働省と日本公衆衛生協会から評価を受け、「特定保健指導実施率向上に役立つ好事例」として選定された全国6団体の1つとして、広く全国に紹介されました。

厚生労働省は、実施率向上を図るため、成果を上げている医療保険者などの効

～在宅医療と在宅介護の連携に向けての取り組み～

市では、平成25年度から医療、介護関係者などとさまざまな取り組みを行ってきました。昨年度、実施した具体的な取り組みをご紹介します。

実施年月	事業内容	参加者	取り組み内容
平成26年5月	先進地視察報告会(大分県臼杵市)	南高医師会医師、事務局職員、地域包括支援センター職員	- 参加者の報告内容 - 多職種の連携をどうしていくかがキーワード - 相談の窓口を設置している - 資源マップの作成、災害時に向けたネットワークづくり - 関係者が顔の見える関係、医師会と行政が手を取り合う - 報告後の市の対応策など - 関係者が会議や研修会で回を重ねてなじみの関係になる - 在宅医療検討委員会を設置予定
平成26年7月	研修会:テーマ"看取りについて"	医療関係者、介護・リハビリ関係者、歯科衛生士、管理栄養士などの委員でグループ討議	- 研修会で協議した主な内容 - 今後、在宅医療は医師会の連携が必要不可欠 - 安心できる在宅で支援できる場所、人など情報不足 - より良い看取りの方法や理解が必要 - 市民も看取りを知る - 看取りへの迷い - 看取りに対しての不安と大変さ - 家族の介護力が違う - 一人暮らしへの対応 など
平成27年3月	南島原市在宅医療・介護連携協議会設置	医療関係者、介護・リハビリ関係者、行政関係者など委員15人	- 委嘱状交付 - 今後の取り組みはチームをつくり具体的に協議していく

今後の市の方針

南島原市在宅医療・介護連携推進協議会は、必要な調査検討チームをつくり、協議会は調査検討チームからの報告を基に、今後、市の取り組みについて協議を行う。

図健康対策課 ☎050(3381)5141



6月は食育月間です

小林
小学校

“できる”を育てる
弁当の日

弁当には
点数をつけません。
評価もしません。

6年生のお弁当
おいしそう！

『弁当の日』

献立、買い出し、調理、弁当詰めから片付けまで、すべて子どもがします。

育まれる
こと!!

- ①食べ物や食することへの関心
- ②作ることの大変さ、楽しさ、感性
- ③感謝の気持ち
- ④生きる力



作る楽しさを子どもたちに!!

取り組み理由

「自分が食べるものを自分で作ることができる人になって欲しい」との思いから始めました。

子どもの感想

- 自分でお弁当を作って、お母さんの大変さがわかった。
- とてもたいへんだった。でも、もっと作りたい。
- のり巻きを巻くのがむずかしかった。お父さんにコツを教えてもらいながらしたら上手にできた。

*市では、市民を対象に「お弁当の写真」を募集します。詳しくは7月号広報紙をご覧ください。

図健康対策課 ☎050(3381)5141



市内の小学校でも取り組んでいる学校があります。そのうちの一枚である小林小学校の取り組みを紹介します。

取り組み内容

- 食育の一環として、夏休みに、1・2年生は「お米とぎ」、3・4年生は「おにぎり」、5・6年生は「みそ汁」にチャレンジします。

また、『お弁当の日』に向けて6年生は「たまご焼き」「おかず2品」を作ります。

- 6年生は10月、2月、3月の年3回『お弁当の日』に取り組みます。その日は校長先生はじめ先生たちもお弁当を作って持ってきます。

- 冬休みはテーマを設けず、全員台所に立ってもらいました。その結果、低学年の中にも「みそ汁作り」に挑戦した人が何人もいました。

- 今年度は、秋の遠足のお弁当で学年に応じた取り組みをする予定です。

保護者の感想

- 子どもが一人でお弁当を作り上げたことにびっくりしました。「親は手を貸さない」と言われていたので、全部自分で作っていました。
- 野菜を切るのがとても上手になっていてびっくりしました。色とりもきれいで、おいしそうなお弁当ができました。おとうさんの分もいっしょに作ってくれました。ありがとう！